

令和1年度の事業報告書

令和1年10月1日から令和2年9月30日まで
特定非営利活動法人 子どもの心理療法支援会

1 事業の成果

引き続き、児童福祉領域の対象となる子どもと発達障害をもつ子どもが、心理療法を受けられるように、京都の御池心理療法センターと大阪の大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室、新大阪心理療法オフィスと委託契約を結び、心理療法支援の充実に努めている。京都と大阪で子どものアセスメントや心理療法、および保護者・関係者へのコンサルテーションの資金面での支援を行っている。児童福祉領域の対象となる子どもに関しては1回5000円全額を、発達障害の子どもに関しては1回3000円を支援している。

1. 児童福祉領域の対象となる子どもに対する精神分析的心理学療法の支援事業について

今年度は、児童福祉施設児童、在宅児童の合計23ケースについて、アセスメントおよび心理学療法の支援が行われた。

- 1 児童福祉領域の対象となる子どもへのアセスメント支援：御池心理療法センターにおいて、9ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて合計161回の支援が行われた。新大阪心理療法オフィスにおいては、1ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて合計18回の支援が行われた。
- 2 児童福祉領域の対象となる子どもへの心理学療法支援：御池心理療法センターにおいて、10ケースに対して、子どもの心理学療法、保護者へのコンサルテーション合わせて556回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室においては、2ケースに対して、子どもの心理学療法、保護者へのコンサルテーション合わせて150回の支援が行われた。新大阪心理療法オフィスにおいては、1ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて、合計5回の支援が行われた。

2. 発達障害の子どもに対する精神分析的心理学療法の支援事業について

今年度は、44ケースについて発達相談サービスおよび心理学療法の支援が行われた。

- 1 発達障害児へのアセスメントサービス(発達相談サービス)事業支援：御池心理療法センターにおいて、30ケースに対して、合計395回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室においては、4ケースに対して、合計233回の支援が行われた。新大阪心理療法オフィスにおいては、1ケースに対して、合計6回の支援が行われた。
- 2 発達障害児の心理学療法支援：御池心理療法センターにおいて、2ケースに対して、子どもの継続的な心理学療法と保護者へのコンサルテーションを合わせて73回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室においては、4ケースに対して子どもの継続的な心理学療法と保護者へのコンサルテーションを合わせて233回の支援が行われた。

3. 養育者の心理相談・育児支援事業について

① キンダーカウンセラー派遣事業支援：昨年度に引き続き京都府内の1施設に対して、14回分の支援を行った。また、大阪府内の1施設に対して6回分の支援を行った。派遣費用の半額を幼稚園が負担し、残りの半額を当NPOが支援している。

3 コンサルテーション事業支援：

- (1) 大阪府内の児童養護施設職員へのコンサルテーション支援：昨年度に引き続き、今年度も大阪府内の児童養護施設1施設において、職員へのコンサルテーション支援が2回行われた。また、乳児院1施設において、職員へのコンサルテーション支援が2回行われた。施設に対して2回分のコンサルテーションにかかる費用のうち一部を支援している。

4. 精神分析的な心理療法の研修・セミナーの企画・運営について

①臨床セミナー事業：「京都精神分析・臨床セミナー」を企画し、年6回開催した。今年度は、63名の参加者があり、参加者アンケートでは毎回高い評価を得ている。また、このセミナーは、日本臨床心理士資格認定協会の定める「定例型研修会」としても承認されている。また、「京都精神分析・臨床セミナー」の受講者に対して「基礎の基礎セミナー」も開講し、精神分析的な心理療法の導入の機会を提供している（参加者16名）。新型コロナウイルス感染防止対策として、4月以降の回はオンライン開催とした。

②研修事業：「精神分析的な心理療法研修プログラム」を通年で開催している。2020年4月開講の研修プログラムでは、全23コースを設け、延べ150名の専門家が研修を受けている。2018年4月より、「観察と臨床基礎コース」と「セラピスト養成コース」の2つの訓練コースを新設し、2020年4月に「観察と臨床基礎コース」は3期生を迎えた。子どもの心理療法支援会精神分析的な心理療法士の養成を促進し、サポチル活動（特に心理療法支援事業）にコミットする人材を増やすことを目的に、凝集性の強い研修内容を提供することとなった。「観察と臨床基礎コース」には11名の受講生が、「セラピスト養成コース」には9名の訓練生が、コースにおける訓練を受けている。いずれも2020年4月より、プログラムによっては新型コロナウイルス感染防止対策としてオンライン開催とした。

また、2020年11月23日にオンラインによる乳児観察および訓練コース説明会を開催した。

※2012年度より開始した「子どもの精神分析的な心理療法士」の資格認定制度に対して、今年度は申請がなかった。また、2017年度より開始した「子どもの精神分析心理療法スーパーバイザー」の資格認定制度に対して、今年度は1名の申請があったが、書類の不備により合格は保留となった。

1 サポチル関東事業：関東地方でもサポチルの活動や子どもの精神分析的な心理療法の訓練と実践の普及を目指し、本格的に事業が開始されている。

・関東「臨床セミナー事業」：2019年10月～2020年3月までに3回（参加者79名）、2020年4月～9月までに3回（参加者は67名）開催した。新型コロナウイルス感染防止対策としてオンライン開催とした。

・関東「研修セミナー事業」：2020年4月開講のプログラムとして6コースを設け、合計74名の専門家が研修を受けている。

5. 子どもの精神分析的な心理療法に関する啓蒙・広報活動について

①広報活動事業：会報（年1回発行。会員および関係諸機関向け）、メールマガジン（月1回発行。正会員向け）、サポチル通信（年1回発行。会員向けニュースレター）を作成し発送した。

また、2018年7月より、ホームページ上でオンライン決済システムを導入し、寄付をクレジットカード決済できるようにした。発達相談サービスや寄附のチラシ、しおりを作成し、研修会等で配布している。ツイッターやフェイスブックでの情報発信も定期的におこなっている。

2 運営資金獲得事業：今年度の寄付件数は延べ171名で、寄付者数は130名であった。

『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック下における、子どもと家族の心理臨床ガイドライン第1版』を2020年4月に作成し、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の「新型コロナウイルスに係る援助金助成」に採択され、ガイドライン作成・広報活動を行った。また、2020年8月、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」に対し、心理療法支援事業に対する助成の申請を行ったが、結果は不採択であった。

6. 精神分析的な心理療法に関する研究活動について

研修プログラムのコースである「京都精神分析研究会」では、精神分析に関する文献の研究、事例の検討会などを行い会員の研修や研究活動を支えている（参加費無料）。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	支出 額 (千 円)
精神分析的心理療法の研修・セミナーの企画・運営事業	臨床セミナー事業 2019-20年度 京都精神分析・臨床セミナー	(A) 6回/年度 (B) ハートンホテル京都、ハートピア京都、オンライン/オンライン開催 (C) 15人×6回	(D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E) 約60人	2,098
	臨床セミナー事業 2019-20年度 基礎の基礎セミナー	(A) 6回/年度 (B) 御池心理療法センター/オンライン開催 (C) 2人×6回	(D) 子どもの心理療法の初学者 (E) 16人	
	研修事業 (研修プログラム・乳児観察ワークショップ・乳児観察報告会) 専門性の高い内容を学ぶための小グループセミナーおよび勉強会	<研修プログラム> (A) 2020年4月～ (B) 御池心理療法センター/梅田/なんばオフィス/京橋心理相談室/オンライン開催 (C) 5人 <訓練コース> (A) 2020年11月23日 (B) 御池心理療法センター/梅田/なんばオフィス/オンライン開催 (C) 5人 <乳児観察および訓練コース説明会> (A) 2020年11月23日 (B) オンライン開催 (C) 6人	<研修プログラム> (D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E) 延べ150人 <訓練コース> (D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E) 20人 <乳児観察および訓練コース説明会> (D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E) 30人	9,646
	サポチル関東研修事業 (臨床セミナー・研修セミナー) 関東地方で専門性の高い精神分析的心理療法を学ぶセミナー	<臨床セミナー> (A) 2019年10月～ (B) 大妻女子大学/オンライン開催 (C) 5人 <研修セミナー> (A) 2018年4月～ (B) 渋谷、新宿貸し会議室他/オンライン開催 (C) 5人	<臨床セミナー> (D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E) 延べ79人 <研修セミナー> (D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E) 4人～36人	2,906

<p>◇児童福祉領域の対象となる子どもに対する精神分析的心理療法の支援事業</p> <p>◆子どもに関わる専門家に対するコンサルテーションへの支援事業</p>	<p>心理療法支援事業</p>	<p>◇心理療法及びアセスメント面接にかかる料金補助</p> <p>◆関係者へのコンサルテーションにかかる料金補助</p>	<p>(A) 2007年10月～継続中</p> <p>(B) 御池心理療法センター/大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室/新大阪心理療法オフィス</p> <p>(C) 23ケース</p>	<p>(D) 児童養護施設入所児童、児童養護施設退所児童、自立支援施設児童、知的障害児施設、里子、被虐待児、及び保護者、学校職員、施設職員</p> <p>(E) 約50人</p>	<p>7,563</p>
		<p>コンサルテーション支援</p>	<p>(A) 2014年10月～継続中</p> <p>(B) 対象となる施設</p> <p>(C) 3人×4回</p>	<p>(D) 施設職員</p> <p>(E) 述べ20人</p>	
		<p>◇心理療法及び発達相談サービスにかかる料金補助</p> <p>◆発達障害の子どもへのコンサルテーションに対する支援</p>	<p>(A) 2007年10月～継続中</p> <p>(B) 御池心理療法センター/大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室/新大阪心理療法オフィス</p> <p>(C) 44ケース</p>	<p>◇(D) 発達障害をもつ子ども</p> <p>(E) 44人</p>	
		<p>◇発達障害の子どもに対する精神分析的心理療法の支援事業</p> <p>◆養育者の心理相談・育児支援事業</p>	<p>キンダーカウンセラーの派遣支援</p>	<p>(A) 07年12月～継続中</p> <p>(B) 対象となる幼稚園</p> <p>(C) 2人×22回</p>	
<p>子どもの精神分析的心理療法に関する啓蒙・広報活動事業</p>	<p>広報活動事業</p> <p>メールマガジン、サポチル通信、ホームページ、会報、チラシ</p>	<p>(A) 通年</p> <p>(B) 事務所</p> <p>(C) 6人</p>	<p>(D) 会員・一般</p> <p>(E) 不特定多数</p>	<p>738</p>	
	<p>運営資金獲得事業</p> <p>寄付金や助成金の獲得を目指す</p>	<p>(A) 通年</p> <p>(B) 事務所</p> <p>(C) 2人</p>	<p>(A) 支援を受ける子ども及び養育者、子どもの福祉に関わる関係者など</p> <p>(B) 約40人</p>		
<p>精神分析的心理療法に関する研究活動事業</p>	<p>研究活動事業</p> <p>精神分析研究会の研究・研修活動の支援</p>	<p>(A) 10回</p> <p>(B) 御池心理療法センター</p> <p>(C) 2人</p>	<p>(D) 心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生</p> <p>(E) 述べ約30人</p>	<p>0</p>	

(2) その他の事業

当該事業年度は実施しなかった。